

新製品 新技術紹介

空気の敷ふとん

佐伯 勉

佐伯株式会社

〒451-0075 名古屋市西区康生通り 2-21

TEL (052) 522-8181 FAX (052) 522-8190



空気の敷ふとん

より軽く、より経年変化の少ない寝具を目指して

開発の経緯

弊社は長年、寝具の卸売り販売をしてまいりました。

お客様のお声の中で、ふとん、特に体重を支える敷ふとんに求められる性能として、よくあげられるのは

- ・軽さ
- ・経年変化の少なさ

でした。

「ふとんの上げ下ろしがつらい」「使っているうちにペシャンコになってしまう」というお声が多く上がっていました。

そんなときに、出会ったのが、この技術でした。

空気というものはクッションとしては非常に優れた弾性特性を持っているのですが、それをクッション材として使用するには大変な技術が必要だということは容易に想像ができました。

また、クッション材として耐圧分散能力を高め、厚さを抑える構造についてはアメリカの特許を使用しております。

ふとんというものは、「日常生活にふつうに使えるもの」で、特別な知識が必要なものではないのです。

取り扱いの難しいものを、日常生活に溶け込ませる技術。それが今回の課題でした。

実際に使ってみて違和感のないクッション性や形状。経年変化に耐える素材。空気の密閉など。さまざまな問題がありましたが、それらをクリアして製品化にこぎつけることができました。

具体的には、空気をクッション材として使いながら、非常に少ない容量の空気で、人間の体重を分散させる形状の構造体を採用しました。また、長期間、空気を密閉するために、特殊なラミネート加工を施した素材を使用しています。

その結果、コスト的には日用品のレベルを少々超えてはいはいますが、これは量産化されれば、クリアできるものと信じております。

現在、この製品は一般家庭用、介護用、災害用の分野で使用されています。

一般の家庭においては、軽く、経年変化の少ない高性能敷ふとん

として、使用されています。

また、介護用としては、じょくそう（床ずれ）防止用マットレスとして、たくさんの介護施設で使用されています。

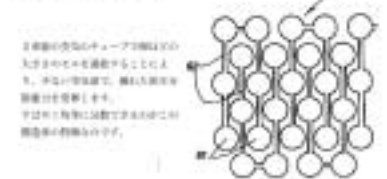
防災用のマットレスとしては、今後生産コストが下がることによって、実現されていくと思われます。災害時に体育館に、アクリル毛布だけではとても寝ることは不可能だと思います。

以上の点がこの製品の概要でございます。

『技術』ということばと縁遠かった寝具に、このような製品を作るチャンスを与えてくださった皆様に、感謝しております。

こんな技術が使われています

- 空気の逃げを極く遅くする構造。熱気も逃げられないすばらしい性能です。（特許第2947722号）



- 特殊な素材をセパレーターとポリウレタンを積層しているため、経年変化の抑制にも、増量設計が多量にメンテナンスが容易に簡単です。

